

## 1. 基本方針（理事長：長谷川 演）

会員増強に一步踏み込む一年とします。

事業部・各支部、高いエネルギーで日々の活動に磨きがかかってきました。

何においてもこの高いエネルギーが必要でここがチャンスと考えます。

JCDの意義、生み出す価値を正しく伝え、次へ繋げるためのメンバー増強。

ここ数年の成果を結果へ結び付け、業界にシゲキを与え、更なる未来へ備えます。

時代は変化します。自由で気ままな一匹狼が楽で楽しい時代も変わります。

社会において何ができるか、一人ではできない大きな枠組みでの貢献が成果として現れることに自分や会社の存在を確認する必要が出てきました。

横のつながりから社会へつながる。

JCDの価値は会員のつながりで生まれます。基礎は固まりました。

今こそ、仲間を増やしステージ、ポジションを上げ、私たちの力を発揮し、

JCDを広く知らしめましょう。

## 2. 主要事業計画の概要

### （1）事業部（部長：窪田 茂）（委員長会議議長：大滝道晴）

#### ①デザイン賞委員会（委員長：笠原英里子）

##### ■JCD デザインアワード 2018

##### 1. JCD デザインアワード 2018

1月31日 JCD デザイン賞委員会/平成30年度デザイン賞委員会スタート

- ・1次、2次審査員検討
- ・2次公開審査実施日時決定

3月中旬 ・2次審査員の決定

- ・応募要綱作成
- ・メディアへ告知依頼
- ・海外デザイン協会への告知検討

4月1日 公式サイトアップ

4月1日～5月23日 応募期間

5月31日 1次審査員へ審査方法を伝達

6月1日～6月8日 1次審査期間（インターネット審査）

6月12日 JCD デザイン賞委員会

- ・BEST100 決定

6月13日 ・応募者へ結果通知

- ・六耀社へ BEST100 通知

6月13日～6月26日 パネル製作期間

7月7日 2次公開審査会

会場：東京デザインセンター

各賞（大賞1点、金賞5点前後、銀賞10点前後、審査員賞・新人賞・副賞数点）

・年鑑用写真選定

7月8日 ・受賞者に結果通知

・HPにて結果公開

・六耀社・メディアへ結果通

8月末 JCDデザイン賞委員会

・贈賞式内容検討

11月9日 ・JCDデザインアワード2018贈賞式

・デザインメッセージ2018

#### ■ JCD+DSA アワード統合

1. 三役合同調整会議を月一回継続

2. 5月JCD総会でのアワード統合における承認を得る

3. 7月新アワードプレスリリース

プレスリリースの方法は今後検討

4. 2019年4月新アワード開始までアワード統合委員会内での審議継続

#### ②Soda委員会（委員長：新藤 力）

昨年度は、2003年から14年間のSoda委員会活動を総括した「Soda/子どもたちと創るデザイン」を刊行することができました。実証されたのは、私たちが目の当たりにした子どもたちの無限の“創造性”と“可能性”でした。種はすでに子どもたちの中にあるのです。14年間の活動の蓄積をたどるプロセスの中で、あらためて感じたのは“継続”の重要性です。明らかになることを積み重ね、子どもたちにフィードバックを繰り返すことにより、空間デザイン分野の裾野拡大に貢献できるものと考えています。

Soda委員会の大きな目標は、全国での継続的な活動の実施です。

昨年度は、中部支部で初めての出前授業が開催され、継続に向けて良いスタートが切れました。東北支部では独自開催が可能などころまでまいりました。沖縄支部は支部発足当初から全島小学校での開催を目標に活動を継続されています。四国支部・中国支部も実績があり対象校があればすぐにも開催が可能です。北海道支部は桑園小学校、関西支部は大阪市すまい情報センターとのタイアップ、九州支部はデザインスクールキャラバンの取り組みを継続されています。このようにJCDの社会貢献事業のひとつとして、全国規模による活動が定着しつつあります。今後も支部開催の支援に力を入れたいと考えています。

今年度関東地区では、出前授業形式のワークショップを2～4校、タイアップ形式のワーク

ショップを5回実施することを予定しています。出前授業を活動の基軸にしながら、GOOD DESIGN EXHIBITION で実施した屋台型ワークショップのように、新しいプログラムの開発を積極的に進め、様々な年代を対象とした多様なプログラムによるワークショップあるいはレクチャーの開催にチャレンジいたします。また、「Soda/子どもたちと創るデザイン」をツールに、文科省・都教育委員会/地域教育推進ネットワーク東京都協議会・区学校支援課など行政との関係構築を図ってまいります。

Soda 活動は正会員・賛助会員の協働により成立している活動です。今年度も多くの会員の皆様に参加していただける環境をつくることに努めます。

### ③シンポジウム委員会（委員長：窪田 茂）

#### ■SECTION60 の開催

SECTION60 の開催を致します。

今年度は、60 回目という大きな節目でもありますので、今までを超えるようなシンポジウムの開催を目指したいと考えております。

時期については8～9月頃の開催を目指したいと思います。

同様に、シンポジウムの安定的開催を目指し、会場の固定化、協賛会社へのメリット強化、JCD の宣伝強化などを視野に入れながら、次回開催につなげたいと考えております。

また、講演者についても、時代を反映するような方々をお招きし、私たちデザイナーの刺激になるようなシンポジウムを開催したいと思います。

### ④広報委員会（委員長：飯島直樹）

#### 1. 広報活動

- ・JCD+DSA アワード統合への広報支援
- ・アワード統合をふまえた機関誌「SHOKANKYO」の編集方針再設定
- ・JCD 案内パンフレットの更新
- ・ホームページの更新（見やすく、シンプル）

#### 2. 関係団体との協働、支援

- ・IDM の活動推進（新 IPEC 展覧会開催/11 月への協力支援）\* @青山スパイラルで開催。
- ・crafTec ギャラリーでの定期的なプレゼンテーション（=JCD トーク）企画の実行
- ・空間デザイン機構への協力

### ⑤国際委員会（委員長：武石正宣）（代理 長谷川理事長）

次年度は、APSDA の会議と大会が 8 月頃、台北で予定押されており、長谷川理事長と武石が参加する予定です。

また EG は、香港で開催が予定されており、日本からも 10 人以上の出席になると思います。

また 31 年度は日本で開催される予定ですので、その調整も兼ねての参加になります。

#### ⑥賛助委員会（委員長：森川 一）

今年度も引き続き正会員と賛助会員のコミュニケーションを深める施策を立案、推進いたします。

具体的活動としては

##### 1. 仮) 「NEW JCD Product of the year 2019」の実施。

現在プロダクト オブ ザ イヤーは名前の通りその年の優れたプロダクトを JCD の会員様に選んで頂き、JCD 会員様には新しいプロダクトの認知、賛助企業に対しては JCD 会員様への広告という形でお互い WIN WIN になれる企画として 12 年続いているものです。

この企画も年を重ね、参加する賛助の業務形態も多岐に渡り

本来のみんなが WIN WIN というところから離れつつ有ります。

プロダクトを扱っていない賛助企業も御見えになります。

ここで本来の、賛助企業と会員様が本当に WIN WIN になる企画に大きく舵取りを行ないます。

プロダクトだけにこだわらずデザインに関わるもの全てに範囲を広げ

賛助企業が必ず参加できる区分けでアワードを決める企画にいたします。

##### 2. 賛助会員拡大の為の諸方策の立案と実施サポート

さまざまな機会における勧誘を行ないしっかり JCD を

サポートできる組織としての賛助委員会を作ります。

各支部賛助との情報交換等も積極的に行ないます。

会員様、賛助企業両方で WINWIN となるような組織作りを目指します。

本年度も前期同様の考え方を継続して行動しますので

正会員・賛助会員の皆様ともにご協力をよろしくお願い致します。

#### ⑦空間委員会（委員長：鹿目久美子）

※口頭にて説明

#### ⑧交流委員会（委員長：折原美紀）

これからの女子会はゲストスピーカーにお越しいただくとか、何か会話のテーマを決めて「た

めになる会」を行っていきたいと考えている。

また、女子会だけではなく、男性も含め交流できる「ためになる会」も検討中。

## (2) 支部統括部 (部長：小坂 竜)

(支部長会議議長：加藤博正)

当協会は、親しんだ神田から五反田の東京デザインセンターに移り、活躍しやすい状況になった、そのため他協会とどのように接したら良いか課題である、そればかりでなくこのところデザイン業界の環境が変化し動きが慌ただしくなってきた、こんな時、これからの JCD にとって何が大事かを考えるべきである。

また、理事会の会議の補助機関として大事な役割は、理事会では論議されきれず、しかし素通りできない問題を一つ一つのテーマを絞って考えるべきで、全国の支部より意見を聞きまとめて理事会に報告することである。

そんな時、平成 30 年度支部長会議の今年のテーマは、各支部と調整上、秋に行われる支部長会議で論議する。

### ①北海道支部 (支部長：高橋 恵)

今年度の活動方針

「デザインにおける社会貢献を軸に、参加してもらえる活動・仲間づくり」

#### 活動内容

5月10日(木)	北海道支部総会	・収支報告、活動計画、予算案承認、懇親会 等
6月7日(木)	運営会議、	・賛助会員企業セミナー、デザインキャンプ計画
8月9日(木)	運営会議、セミナー	・デザインアワード、デザインキャンプ計画等
8月25日(土)	デザインキャンプ	
9月6日(木)	運営会議、	・北海道デザインアワード計画等
10月4日(木)	運営会議、セミナー	・北海道デザインアワード計画等
11月8日(木)	運営会議	・北海道デザインアワード計画等
11月下旬	デザインアワード開催	
12月上旬	soda 桑園小学校	
12月中旬	Design Xmas Party	
2月7日(木)	運営会議	・来期の事業計画等
2月下旬	鍋塾	
3月7日(木)	運営会議	・収支状況の報告、支部総会計画 等

### ②東北支部 (支部長：大塚真司)

29年度は他団体、企業との交流、共催への足掛かりの年になりました。30年度は正会員、賛助会員との親睦はもちろん、積極的に他団体、企業との交流を増やし、JCDの活動を広げていく1年にしていきたいと思います。また、会員、賛助会員が互いに協力出来る環境づくりを強化し、遠方の会員も参加できる仕組みを構築していきたいと思います。

#### 【運営委員会】

各事業毎（Soda 活動・デザイン発表会等）に運営委員長、運営副委員長を選任し、正会員全員が主体となって事業運営をしていく仕組みを構築

#### 【Soda 活動】

福島県の小学校で開催を予定 また、Soda の活動主旨を広く伝え、JCDの認知と正会員、賛助会員の親睦も図る

#### 【デザインキャンプ・デザイン発表会】

東北各地区で活躍する正会員のデザイン発表会を開催し、会員相互の刺激、デザイン意識の向上と交流を図る また、賛助会員各メーカーの工場視察など検討し、製品知識を深める

#### 【親睦活動】

遠方の地区との交流を深める為、各地区での懇親会、活動報告等を実施 また、他団体とのコラボ企画などを実施

#### 【活動スケジュール】

4月下旬 東北支部幹部会議

- ・30年度活動計画
- ・予算案

6月下旬 東北支部定時総会

- ・地区長会議
- ・通常総会（収支報告・活動計画・予算案等の承認）
- ・賛助会員に依る企業、商品PR
- ・講演会等

8月下旬 ビアパーティー開催

- ・若手デザイナーへのJCD活動アピール

9月中旬 Soda 活動準備委員会に依る運営会議

10月中旬 デザインキャンプ・デザイン発表会開催

- ・工場視察
- ・賛助会員に依る企業、商品PR
- ・正会員のデザイン発表会

1月 新年会開催

Soda 活動ワークショップ開催

- ・懇親会

③関東支部（支部長：小田秀樹）

＊関東支部の各委員会活動の内容を充実する。

今期は、関東支部の各委員会活動の内容を充実して、正会員や賛助会員の参加を促進し会員の増強に貢献する。

■研究セミナー委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長、下村牧子委員

1) とくトーク 5回開催予定

・ 6月初旬・8月下旬・10月初旬・12月初旬・3月下旬「アワード受賞者」  
（トークパネラーへの報酬を検討中）

■支部賛助委員会：品川正之委員長、奥弘史副委員長、原康喜副委員長、藤原巧副委員長、  
本間克典副委員長

原則月1回の委員会を開催し、下記掲載の活動目標の推進を図る。

1) 関東支部正会員及び賛助会員相互のコミュニケーションの活性化を図る。

正会員の委員会への参加要請、全国賛助委員会、Soda委員会への協力等。

2) 賛助会員のビジネスに寄与できるイベント等の企画をする。

賛助会員ショールーム、工場などの見学会等。

3) 賛助会員の意見を集約し、協会に意見具申する。

4) 交流を促進するための親睦イベントを企画する。

恒例のBQ会、熱海花火大会、ゴルフ会。正会員 VS 賛助会員ボーリング大会等。

5) 関東支部の他委員会と連携して、関東支部のイベントのサポートにあたる。

■広報委員会：古川紳太委員長、大滝道晴副委員長

※関東支部機関誌は年3回発刊予定

1) SHOKANKYO で載せないイベントなどは積極的に載せていく。

必然的にページが増えそうなので広告も積極的に募集する。

■メディア委員会：水谷晶人委員長、中村茂雄副委員長

1) ホームページ情報の見やすさ伝わり易さの検証を行いながら更新を行いより一層の活性化を図る。

2) さらに正会員のHP掲載数を増やす。

3) 「JCD関東支部 Face bookページ」にてイベントの立ち上げを積極的に行いイベントのページに認知度の向上を図る。

4) 「JCD関東支部 Face bookページ」を利用して会員の近況情報及び賛助会員情報の告知を積極的に行う。

5) 「JCD関東支部 Face bookページ」から「JCD関東支部ホームページ」への誘導を行いホームページの認知度を向上させる。

6) 「JCD関東支部ホームページ」から「各会員のホームページ」へのリンク結果を可視化させ、その有効性を数値化したい。

■交流委員会：折原美紀委員長、窪田茂副委員長、雲野一鮮副委員長、村上敦委員

- 1) 毎回会場費と会費のバランスで苦勞しているため、会場のコストを調べた所、12月の繁忙期を外すと安く借りられるとのことで開催月を変更するなど、夏と冬のイベントをスイッチするかを検討する。何れトークショーも様々な切り口で面白い企画を検討する。

JCDバンドも様々なイベントに参加をしておりライブも引き続き行なう。

■特別委員会：星明臣委員長

当委員会は、研修旅行の企画立案、実施が主務です。

候補地や要望などをお寄せ下さい。(他支部との連携も、念頭に・・・)

今年度も9月～10月には実施出来ればと考えております。

④中部支部（支部長：不破淳二）

4月)：JCD 中部支部 支部会議 ●今年度事業の計画協議（予定）

5月)：JCD 本部 総会 & 理事会（新執行部発表）

6月)：JCD 中部支部 ●支部総会、新年度の計画発表（予定） ※賛助会員合同

7月)：JCD 中部支部 支部会議（支部デザインアワード、SODA 事業、デトリ 15、他）

8月)：JCD 中部支部 ●夏のビアパーティ（予定） ※賛助会員合同

9月)：JCD 中部支部 支部会議（SODA 事業準備、アワード応募資料準備）

応募チラシ作成等

10月)：●中部支部 SODA 事業 実施予定（開催小学校未定）※賛助会員合同

マテリアル提供および賛助会員協力参加

：●支部デザインアワード作品募集開始

11月)：支部アワード作品応募期間（10月末～11月末頃予定）

12月)：アワード応募作品の審査（受賞作品の選定、作品現地調査）

1月)：支部アワード受賞作品の ●「贈賞式 & 新年パーティ」※賛助会員合同

：空間系3団体（JCD, DSA, SDA）共催のデザイントリプレックス15（会議）

2月)：デザイントリプレックス15 開催（恒例イベント） 会期 約1週間 未定

●3団体デザインアワード受賞作品 「日本の空間デザイン賞」展示

●シンポジウム： 例年3協会の大賞受賞者から選考

●懇親会パーティ： 会場未定 ※賛助会員合同

3月)：JCD 本部 理事会（各支部理事参加）

⑤関西支部（支部長：中村裕輔）

「次世代への取り組みの強化」

「他団体との更なる連携」

6月19日 支部集会（賛助会員PR会・懇親会）

6月 次世代向けセミナー（仮）アートとデザイン

7月30日 夏のビアパーティ & 賛助会員展示会



- 8月25日 SODA事業 住まい情報センター タイアップ事業  
「こどもたちと創る商店街」
- 10月20日 関西学生シンポジウムの開催（4団体共催）
- 11月 次世代向けセミナー&賛助会員展示会
- 12月 4団体連合 「日本の空間デザイン展」
- 12月 クリスマスイベント 開催：西長堀細野ビル
- その他 学生向けセミナー ポートフォリオ説明会  
関西インテリアプランナー協会との共催事業  
デザインセンター大阪「SENBA サロン」への協力（年間5回程度）

⑥中国支部（支部長：深田勝哉）

平成30年度の中国支部活動方針は「若手デザイナーが活躍するための環境創り」をテーマに、支部創りを目指します。前年度同様に、デザイナーと地域との交流の場創り、デザイン会議、デザインセミナー、デザインアワード、デザイン研修など様々な活動を通して、支部に関わるデザイナーにとって活躍しやすい支部を目指してまいります。

30年度事業内容

● 組織改革・・・会員増強と並行して若手会員が中心となって活動できるような新組織の改革を行う。

● 例会活動・・・本部、支部からの連絡事項、支部内の審議事項、活動計画立案。親睦活動などに加え、若手デザイナーによる新しいプログラムを検討し、デザインについての発表場としたいと考えています。

通年・・・各地（岡山・福山・広島）での懇親会、賛助会員によるミニセミナー。

秋・・・国内外を問わず、デザイン研修旅行の計画。

冬・・・他支部との交流会「鍋塾」の計画。

4月 30年度支部総会 前年度事業報告・新年度事業計画発表・新組織発（岡山）

5月 30年度定時総会（カナダ大使館）への参加（東京）

6月 第2回JCD中国支部例会&ミニセミナー（未定）

8月 第3回JCD中国支部例会&ビアパーティー（福山）

10月 第4回JCD中国支部例会&ミニセミナー（広島）

11月 広島デザインデイズ 2018 開催（広島）

12月 第5回中国支部例会 & 大忘年会（岡山）

2月 第6回中国支部例会 & デザイン交流会・鍋塾（未定）

●地域活動

支部事業である、「広島デザインデイズ」を地元との交流、そして広島・岡山を中心とするデザイン団体、建築・デザイン系の大学・専門学校、地元商店連合会など参加者を増やし地元根付いたデザインを中心とした交流の場活にしたいと考えます。

7月	広島デザインデイズ 2018	第一回準備委員会	(広島)
8月	広島デザインデイズ 2018	第二回準備委員会	(広島)
9月	広島デザインデイズ 2018	第三回準備委員会	(広島)
10月	広島デザインデイズ 2018	第四回準備委員会	(広島)
11月	広島デザインデイズ 2018	開催	(広島)

⑦四国支部（支部長：長尾勝彦）

基本方針

2018 年は支部活動を通じて他団体との交流、賛助会員企業との共同企画、アート芸術との絡みなどを通じ四国支部ならではの魅力あるデザイン協会を目指し会員増強を目指します。

2018 年活動予定

- 3月17日                   ・平成29年度第一回臨時理事会（東京デザインセンター）
- 3月末                    ・3月ランチ会議（SHIKOKU デザインフュージョン会議）
- 4月7日                   ・女木島さくらまつり参加
- 4月14, 15日             ・財団法人川島猛アートファクトリー公開アトリエ
- 4月21, 22日             ・第3回 SHIKOKU デザインフュージョン開催、文化会館3階、
- 5月26日                 ・東京総会（カナダ大使館）定例理事会、定時総会、懇親会
- 6月                      ・6月例会 JCD 四国支部 OB 会開催
- 6月                      ・JCD デザインアワード一次審査
- 7月                      ・瀬戸内島めぐりカタマランヨットクルージング
- 8月                      ・8月ランチ会議
- 9月                      ・9月例会 JCD+サンゲツセミナーパーティ
- 10月                    ・多度津町並み勉強会
- 11月                    ・財団法人川島猛アートファクトリー公開アトリエ
- 11月                    ・JCD デザインアワード贈賞式（東京・明治記念館）
- 11月                    ・JCD 理事会、支部長会義（東京デザインセンター）
- 12月                    ・JCD+SDA 合同忘年会

2019 年

- 1月                      ・賀詞交歓会（東京デザインセンター）
- 2月                      ・専門学校穴吹デザインカレッジ、デザイン展 19 後援
- 2月                      ・新年会（来期計画について検討）
- 3月                      ・平成30年度第一回理事会（東京デザインセンター）
- 4月                      ・お花見会
- 5月末                    ・地方支部総会   ・定例理事会、定時総会、親睦会

⑧九州支部（支部長：原田啓二）

- |           |                               |
|-----------|-------------------------------|
| (1) 4月～毎月 | 月例会開催                         |
| (2) 5月    | FUKUOKA デザインリーグ理事会及び総会参加      |
| (3) 6月    | 支部レクリエーション開催：有田陶芸体験           |
| (4) 7月    | ビアパーティ開催                      |
| (5) 8月    | デザインスクールキャラバン委員会の参加           |
| (6) 10月   | デザインスクールキャラバンの開催              |
| (7) 11月   | JCD デザインアワードパネル展の開催（SDA 共同開催） |
| (8) 12月   | 九州支部忘年会開催                     |
| (9) 1月    | 九州支部新年会開催                     |

九州支部は、NPO 法人「FUKUOKA デザインリーグ」への参加を続けながら、社会貢献と勉強会などの参加を積極的に行っており、知名度拡大に重点をおいてまいります。又、会員も少しずつ増えている状況ではありますが、日々JCD活動に参加いただいている正会員は固定されている様です。魅力ある九州支部を目指し、日頃参加いただけない会員にも参加しやすい様、一般の方々にも JCD 自体を広く認知していただける様、引き続き魅力のある活動を継続して参ります。

#### ⑨ 沖縄支部（支部長：山里健市）

##### ■30年度の活動について

- 1) 前年同様、JCD 認知度 UP の為、コミュニケーションイベントの計画、そして SODA 事業のブラッシュアップ、そこから沢山の学校に呼んで頂けるような体制づくりに引き続き取り組んでいきたいと思っております。
- 2) 継続事項として JCD 認知度アップの為のイベントの開催や交流会を行う事で正会員・賛助会員の獲得へも繋げていきたいと思っております。  
ワークショップ(SODA)の開催について、今年度は2回の開催を目標とします。

##### ■主な活動計画

- 1) 4～6月
  - ・支部定例会の開催（4月・6月）
  - ・異業種交流、夕涼みBBQの計画
- 2) 7～9月
  - ・支部定例会の開催（8月）
  - ・夕涼みBBQの開催・・・(固定の交流イベント)
  - ・SODA（ワークショップ）の計画
- 3) 10～12月
  - ・支部定例会の開催（10月・12月）
  - ・SODA（ワークショップ）の開催。
  - ・トータルリビングショーへの共同参加  
(前年同様、イベント来場者の子供達と お店のミニチュア模型作り)
  - ・JCD 沖縄 忘年会「モノづくりガンバッタ 2018」開催

(建築・インテリア・グラフィック。各デザインに関係する個人・他団体と1年を振り返って。)

- 4)1~3月
  - ・支部定例会の開催 (2月)
  - ・SODA(ワークショップ)の開催。

### (3) 総務部 (部長：太細 通)

#### ①財務委員会 (委員長：太細 通)

30年度予算は、事業活動収入4,185万円、事業活動支出3,993万円で、191万円の黒字収支計画となります。

内訳としては、本部が113万円の黒字、9支部合計で78万円の黒字の収支予算です。

本部の収益には職員の退職給付引当金を含んでいますので、その分を見込む必要があります。

事業活動収入において、会費収入は会員数が増加したため29年度予算より246万円増。

事業収入は29年度予算に比べ、設計奨励事業30万円増、講習会収入13万円増、広告料収入10万円増。逆に収入減は総会収入が沖縄開催から東京開催になり、各種イベント開催の参加費等減で181万円減、研究会収入10万円減等です。他事業と相殺して全体で昨年度予算より133万円減の予算としています。

事業活動支出においては、昨年度予算に比べ増額が大きいところでは設計奨励費がDSAとのデザイン賞統合の準備費等で180万円、広報費が報酬指針の発刊等で39万円、会員名簿費が発行年のため35万円が主な項目です。逆に減額は総会費が東京開催で194万円、セミナー育成費はsoda本が完了し53万円、賃借料が倉庫借入をやめ38万円、また事務所の光熱費が賃料込みになったため36万円等です。他事業と合わせた事業活動支出では昨年度予算より合計21万円減となります。

年々減少の一途でありました会員数の減も、賛助会員が増え2割増の増収の予算を回すことができました。正会員も支部のばらつきがありますが減少に歯止めがかかり4%増の増収予算を回すことができました。結果会費収入が昨年度予算より246万円、10%増の予算になりました。会費が事業活動の主たる源泉ですので、更なる会員増強を図ることで収入を増やさないかぎりこれから大きな事業は望めません。昨年度同様会員増のためには留保金の活用方法などを考えていく必要があるかと思えます。皆さんで知恵を絞って会員増強を図っていきましょう。

#### ②功労者選考委員会 (委員長：星 明臣)

当委員会の主務は、当協会、特別功労賞表彰規定などに則り、「JCD 功労賞・支部功労賞」及び「名誉会員・評議員」「顧問・参与」の候補者を会員から募り、推薦された各候補者の貢献度などの与件を審議する。結果、該当する候補者を、理事会に推挙します。

肝要なことは、誤謬なき・適正な推挙を心がけることです。

委員会は、一昨年度、選任された8名の委員が継続し、任に当たります。

一方、JCDへの社会的認知度や、地位向上策の一環として、継続的に「国交省大臣表彰」の候補者を推薦していきたいと考えております。

尚、8名の委員は、小坂副理事長、太細専務理事、大熊監事、小田理事、奥平評議員、寒川評議員、山田評議員、星です。